

教育委員会（ 3月 ）会議録						
招 集 年 月 日	令和5年3月23日（木）					
招 集 の 場 所	白馬村保健福祉ふれあいセンター 1階 会議室					
開 閉 会 の 日 時 及 び 宣 言	開 会	令和5年3月23日（木） 午後2時00分				
	閉 会	令和5年3月23日（木） 午後3時06分				
出 席 委 員	職 名	氏 名	職 名	氏 名	職 名	氏 名
	教 育 長	平 林 豊	委 員	田 口 令 子	委 員	武 田 弥 生
	教育長職務代理者	幅 下 守	委 員	松 沢 亨		
事 務 局	教 育 課 長	横 川 辰 彦	子 育 て 支 援 課 長	下 川 浩 毅	生 涯 学 習 ス ポー ツ 課 長	松 澤 宏 和
	子 育 て 支 援 課 長 補 佐	内 山 明 子	公 民 館 長	横 川 秀 明	教 育 係 長	中 村 由 加
	生 涯 学 習 係 長	渡 邊 宏 太				

会議の要旨

<p>1 開 会 [教育長] 開会を宣言した。</p> <p>2 令和5年2月定例会会議録について 異議なく承認された。</p> <p>3 報告 ○教育長報告 今月6日から昨日まで白馬村議会定例会が開催され、令和4年度白馬村一般会計補正予算(第8号)及び令和5年度白馬村一般会計予算が認められた。また、教育長の任命について、横川公民館長が同意された。 9日に、学校保健安全法第20条の規定に基づき、白馬北小1年2組、10日に1年1組を学校全体のインフルエンザの罹患状況や潜伏期間を踏まえた蔓延防止のため、13日まで臨時休業とした。 中学校卒業者の進路状況は、白馬高19人・大町岳陽18人・南農1人・豊科1人・飯山高2人・岡谷工業1人・長野市内の公立高4人・松本市内の公立高12人・県内私立高10人・県外の高校3人・その他3人となっている。白馬高校への進学率は25.7%である。</p> <p>○教育課長報告 3月議会で、給食費の無料化について陳情があり、白馬村の学校給食の現状について説明をした。議員からは、白馬村の財政状況から一度に無料化はできないので、徐々に負担軽減を図るべきであるとして不採択となった。 文部科学省から新学期以降の学校におけるマスク着用の考え方の見直し等について通知があった。4月以降は基本的にマスクの着用を求めない。感染リスクの高い学習活動は引き続き換気などの対策をとることは変わらない。 小中学校の令和5年度の入学式は4月6日に執り行われる。新型コロナウイルス感染症も小康状態になっていることから、教育委員会告辞は通常どおりに戻す予定である。</p> <p>○子育て支援課長報告 3月議会において、子ども第三の居場所事業の関係で、村有地の無償貸付の議案が可決された。近隣住民と八方口区と白馬町区の総会の折に説明を行った。</p>

○生涯学習スポーツ課長報告

3月8日に、第60回スキー技術選手権大会の組織委員会が開催され出席した。大会は8日から12日まで八方尾根スキー場を会場に開催された。

16日に、日本パワーリフティング協会、長野県パワーリフティング協会と長野県国民スポーツ大会準備室の方々が、令和10年度開催の第82回国民スポーツ大会の公開競技となるパワーリフティング競技の白馬村での開催について説明に訪れた。開催を受け入れる方向であるが、正式決定は令和7年度となっている。

第10回村民スキー大会は、エイブル五竜を会場に開催する予定であったが、雪不足により中止となった。

○公民館長報告

3月9日に公民館運営審議会並びに社会教育委員会を開催し、社会教育事業の中間報告と来年度の事業計画について話しあった。

16日に、分館長会議を開催し、今年度の報告と来年度の計画について意見を伺った。

4 議 事

○報告第4号 白馬村スポーツ功労賞の授与について

[生涯学習スポーツ課長]

既に5名が表彰されているが、今回3名を追加で表彰する。受賞者は、全日本の大会で優勝した、マウンテンバイク、スノーボード、フリースタイルの選手3名である。

○承認第6号 白馬村立白馬北小学校の臨時休業について

[教育課長]

1年2組を3月10日から13日まで、1年1組を3月11日から13日まで、学級閉鎖とした。それぞれの学級で6名から7名ほど、インフルエンザ罹患者、又はインフルエンザのような症状で休む児童が出た為、蔓延防止措置として学級閉鎖とした。

・全員賛成で承認された。

○承認第7号 区域外就学について

[教育課長]

既に南小への区域外就学を認めている姉弟の児童2名について、当初の就学期間は2月末までであったが、親の白馬村での仕事の期間が延びたことにより、3月末までの就学を認めたので、承認を求める。

・全員賛成で承認された。

○承認第8号 県費負担教職員の指導上の措置について

[教育課長]

小学校の教諭1名が、帰宅するため国道を自家用車で走行していたところ、右折のために停車していた車両に後方から追突するという案件があった。当該教諭は安全確認を怠り相手方の車両を破損、過失割合が10割ということで、指導上の措置として口頭注意を行ったので、報告し承認を求める。

・全員賛成で承認された。

○議案第24号 白馬村教育委員会事務局組織規則の一部改正に対する意見について

[教育課長]

教育委員会事務局組織規則については、改正前は「事務局に置く職は、白馬村組織規則の規定に準ずる」ということで、課長や係長、係員を置くというものであったが、教育長を補佐する職の必要性から、「教育次長を置くことができる」に改める。改正の3条にあるが、「教育次長は、教育長を補佐するとともに、教育長の命令を受け所掌事務を管理し、所属職員を指揮監督する。」ということで、今までなかった課長をまとめる職として教育次長を置くという内容のものである。

[教育長]

これは村長提案による規則の一部改正であるが、人事異動内示の職名に「参事」があることから、教育委員会としては「参事」も置くことができるという形をとっておいた方が良いと考える。参事は、教育長の指示を受けて、特定の事務を掌理する。ご意見はあるか。

[教育長職務代理者]

事務局がその必要性から「参事の職を置くことができる」とするものなので理解できる。

[教育長]

第 3 条中「事務局に教育次長を置くことができる」を「事務局に教育次長及び参事を置くことができる。」に修正する。また、3 として「参事は、教育長の指示を受けて、特定の事務を掌理する。」を加え、3 を 4 にして「前 2 項」を「前 3 項」に修正する。

・全員賛成で可決された。

○議案第 25 号 白馬村教育委員会事務局職員の人事異動について

[教育課長]

・令和 5 年 4 月 1 日付の教育委員会事務局の人事異動について、説明する。

・全員賛成で可決された。

○議案第 26 号 令和 5 年度白馬村会計年度任用職員の任用について

[教育課長][子育て支援課長][生涯学習スポーツ課長]

・各課の令和 5 年 4 月 1 日付会計年度任用職員の任用について説明する。

・全員賛成で可決された。

○議案第 27 号 白馬村社会教育委員の委嘱について

[生涯学習スポーツ課長]

委嘱する 6 名の委員の内、3 名が新規となる。任期は令和 5 年 4 月 1 日から令和 7 年 3 月 31 日まで。

・全員賛成で可決された。

○議案第 28 号 白馬村文化財審議委員会委員の委嘱について

[生涯学習スポーツ課長]

委嘱する 7 名の委員の内、3 名が新規となる。任期は令和 5 年 4 月 1 日から令和 7 年 3 月 31 日まで。

・全員賛成で可決された。

○議案第 29 号 白馬村公民館運営審議会委員の委嘱について

[生涯学習スポーツ課長]

委嘱する 12 名の委員の内、2 名の公募による委員が新規となる。任期は令和 5 年 4 月 1 日から令和 7 年 3 月 31 日まで。

○議案第 30 号 白馬村スポーツ推進委員の委嘱について

全員再任ということで委嘱したい。任期は令和 5 年 4 月 1 日から令和 7 年 3 月 31 日まで。

・全員賛成で可決された。

○議案第 31 号 白馬村立白馬北小学校薬剤師の委嘱について

[教育課長]

北小の薬剤師について、新たに委嘱するもの。

・全員賛成で可決された。

○議案第 32 号 白馬村小中学校の入学式告辞について

[教育課長]

ここ数年、新型コロナウイルスの感染対策として式典の簡素化のため、教育委員会告辞については掲示という形で行ってきたが、4月の入学式は、通常通りに読み上げる形で行いたい。

・全員賛成で可決された。

5 その他

(1) 図書館等複合施設について

[生涯学習係長]

前回の説明でモデルプランが気になるというお話をいただき、今回、この調査報告書の概要版という資料をお配りした。この調査の委託業者を決めるときに、プロポーザルの中でモデルプランを作って検討していくという提案があった。6 ページにあるモデルプランは、あくまでも事業費を計算するためのプランであり、本当にその敷地内に建物が収まるか、諸々の関係法令等を充たした建物ができるかどうか、という視点で仮に作ったものになるので、プランにある建物の形状とか配置等について、これありきで進めていくというものではないということをご理解いただきたい。実際の建物の形状や配置については、今後、検討していく中で決定していく、または設計業者の提案の中で決まってくる部分である。参考までにこのモデルプランについて説明すると、今回は2棟をくっつけるという形状になっていて、1階にエントランスとカフェ、その他の機能と奥に子育て支援機能があり、2階に図書館を配置している。2階に子育て支援センター等があると、子どもの足音が下に響くのではないかとということで、こういう配置にしている。エントランスに近いところ等をどう使っていくかというのは、これからまた検討していくことになると思っている。

次に、今後の村の方針であるが、今回のモデルプランの試算で、施設整備にかかる費用が約25億円、維持管理運営にかかる費用が年間5,300万円となっているが、それが今の村の現状に合っているかどうかという部分はまた別の視点であると思うので、そのあたりをもう少し精査した中で引き続き民間事業者に意欲を持ってもらえるかどうかや、その他諸々課題になっている部分について、来年度の9月ぐらいまでに検討して方向性を出していきたい。基本計画を見直すということも考えている。議員の中には図書館と子育てを分けて、子育て支援施設は保育園の方に先に整備し、図書館はもう少し後でもいいんじゃないかという意見もあり、議員の中でも意見が分かれている部分がある。担当課とすると、複合化することで、子育て世代と他の村民の居場所というものを切り分けずに、一緒にすることで色々な世代間交流とか相乗効果を生み出したり、地域みんなで子育てを協力していけるような施設を作りたいと考えている。事業費に関してはもう少し精査する必要があり、基金もかなり積んでいかないと施設整備も厳しいが、もう少し検討時間をいただいた上で、また報告する。

[委員]

現状では、図書館機能と子育て支援機能がある複合施設で、そこにカフェ機能を加えるという構想で検討しているということか。ただ単に図書館だけという構想ではないということか。

[生涯学習係長]

そうですね。色々な考え方があってどれが正解っていうのはないと思うが、今の図書館は狭く資料が少ないこともあり利用者は決して多くないが、例えば今のような図書館だけをただ少し広くして作ったからといって利用者が増えるかというとなかなか難しいのではないかと思われる。また、公共施設をなるべく集約化・複合化して効率よく、相乗効果も含めて整備して行こうという流れが全国的にある中で、これまでの検討でも何と組み合わせるかということを議論して、子育て支援施設ということになっているので、選択肢は色々あるが、今の担当課としては複合施設として整備していきたいと考える。

[委員]

7ページのところにある資金調達でネーミングライツとか雑誌スポンサーとあるが、どういったことか。

[生涯学習係長]

雑誌スポンサーはもう既に導入している自治体や図書館が結構ある。雑誌代を企業に出してもらって代わりに、例えば雑誌の最新刊の表紙に、その企業のロゴとか社名を紹介する等、宣伝になるようなことをする形である。大きい金額を得られるわけではないが、資料の購入代を少し抑えることができる制度である。ネーミングライツは、例えば「ホク文化ホール」のように、施設の名前等に企業名を入れて宣伝する形で、大きい金額を複数年で契約するケースが見られる。

(2) 氷河調査について

[生涯学習係長]

昨年度に引き続き今年度も不帰沢、杓子沢、白馬沢の 3 つの雪渓を、新潟大学と山案内人組合と一緒に調査してきた。令和 2～4 年度までに、その 3 つの雪渓について必要なデータを集めて新潟大学で論文を書き、学会に認められれば氷河と確認される予定だったが、白馬沢については天候不順やアクセスルートの氷が溶けすぎて薄くなってしまったために危険で行けないことがあったりして、必要なデータを十分集められなかったため、来年度に持ち越しとなった。不帰沢と杓子沢についてはデータを集められたので、新潟大でまもなく論文を学会に提出する段階となっており、近いうちにおそらく氷河と確認される見通しである。よって、来年度の元気づくり支援金も申請している状況であるが、白馬沢、不帰沢、杓子沢と既に氷河と確認されている唐松沢について、継続して調査をしていきたいと考えている。

(3)社会教育事業報告について

[公民館長]

資料として、令和 4 年度社会教育事業報告の一覧表を載せている。コロナ禍で様々な制約があったり、残念ながら夏の時期にイベントや講座ができなかったこともあったが、ほぼ予定通りで開催することができた。

(4)令和 4 年度学力向上に関する取り組み状況について

[教育課長]

各学校から学力向上対策委員を選出していただき、6 月から 3 月にかけて全 4 回の学力向上対策委員会を開催している。今年度については、コロナ禍ということで公開授業ができなかったが、全国学力学習調査の結果を考察し、対策について話し合った。成果品として、「令和 4 年度全国学力学習状況調査結果について」ということで考察としてまとめた。結果については、おおよそ全国平均同程度、小学校の国語でやや下回るというような結果であった。児童生徒の質問調査の結果(特徴的な事項について)では、小学校で、書く問題について「最後まで書こうと努力した」の回答が国語では全国を上回り、算数と理科では下回った。これは国語の授業で普段から書く活動を重視していることが影響して抵抗感が少なかったと考えられる。また、中学校で、ICT 機器活用については全質問に対して回答が全国を大きく上回っており、白馬村が早い段階で機器を導入した成果が表れていると考えられる。今後の教育委員会の取り組みとして、コミュニティ・スクール(地域の教育力を活かした学校教育)の充実等を挙げており、令和 5 年度からは学校支援コーディネーターを配置していきたい。この学力調査の結果・考察については、ホームページ等で公表して行く予定である。

(5)4 月の日程について

・臨時会を、4 月 3 日(月)に行う。

署 名 欄	
教 育 長	
教 育 長 職 務 代 理 者	
委 員	
委 員	
委 員	